

## 【韓国労働ニュース】

2019年9月前半号（1日～15日）

- 1日 高空籠城・断食が続く不法派遣、政府の『一時しのぎ処方』が悪循環を呼ぶ  
貨物車、時に凶器？「不適切な運賃体系のせい」
- \* 「安全運賃が生命を救う！」各国の貨物労働者が熾烈に闘って要求したのは、すべての労働者に適用される最低賃金と同様な『安全運賃』の導入だ。労働者と同じように働きながら自営業者とされる貨物運転者は、1件当たり・重量当たりの手数料を受け取る。長時間労働、過積載、高速走行で、貨物車が『道路上の凶器』と呼ばれる理由だ。昨年貨物自動車運輸事業法が改正され、3年間一時的に安全運賃制が導入される。安全運賃委員会は10月31日までに2020年に適用する安全運賃を決める。
- 2日 大統領府に走って行った発電所の下請け労働者たち
- \* 「発電所の協力会社は人材供給業者」というキム・ヨンギョン特調委の調査結果が出た後、二大労総所属の発電所の非正規労働者が大統領府の前で決起大会を行い、特調委の勧告の履行を求めた。
- 金融圏労使、『低賃金職群・非正規職処遇改善』の産別協約を締結
- \* 労使は今年の賃金を総額2.0%引き上げることに合意した。昨年、続けた支部別の補充交渉で、多くの事業場が正規職の賃金引き上げ率の2倍を低賃金職群の労働者に適用するとした。今年はそれ以上に引上げる。
- 貨物労働者「安全運賃制の適用を拡大せよ」・・・27日に警告スト
- 3日 料金収納員、起亜車非正規職・・・『不法派遣』労働者と会った政策室長
- \* キム・サンジョ大統領府政策室長が民主労総を訪問し、法院から『不法派遣』の判決を受けたのに履行されないために闘っている料金所料金収納員、起亜車非正規職労働者たちと対面した。政策室長は「努力する」というレベルの原則的な返事だけをした。
- どンドン大きく感じられる・・・労働者のオモニの『空いた席』
- \* 李小仙オモニの8周忌追悼式が行われた。韓国道路公社の料金所料金収納員のシンさんは「労働運動というものを最近解るようになって、追悼式にくるのが気が重い」「必死に闘って必ず勝利する」と話した。民主労総委員長と韓国労総常任副委員長が参加し、「一つになって闘って欲しいというオモニの遺志を受け継いでいく」と話した。
- 「日曜日は休みたい」建設労働者が週休手当を要求、上京闘争
- \* 全国から2万人の形枠大工が20万ウォンの日当を放棄して上京した。素朴だが切実な願いを知らせるための建設労働者の叫び声が響いた。
- 韓国労総、雇用委員会に「環境産業の雇用安定議論機構」の新設を提案
- \* 韓国労総は生活廃棄物処理業務は、国民生活・安全と密接な関連があるにも拘わらず、ほとんどが民間委託方式で運営されているという点を指摘し、雇用不安を解決するための議論機構や協議体の設置が必要だと提案した。
- 法外労組の職権取り消し闘争に合わせ、対政府交渉を回復する
- \* 全教組が2019年下半期事業計画を明らかにした。ILO基本協約批准同意案の閣僚会議議決に合わせて、法外労組の職権取り消しと解雇者復職を要求する闘いをする。政府

と市・道教育庁に交渉を要求しようとしているが、労組は法外労組のために交渉権限がない。

#### ソウル大病院、非正規職 840 人を全員直接雇用『特急処方』

\*ソウル大病院が子会社雇用を取り消して、派遣・委託労働者 840 人全員を正規職として直接雇用する。国立大病院では初めて。正規職転換率が 0.29%(15 人)に過ぎない国立大病院非正規職労働者の正規職化、転換のやり方に影響を与えるか、注目される。

#### 労働部、ソウル大の清掃労働者休憩室 15ヶ所に『改善勧告』

\*民主労総ソウル一般労組が劣悪だと指定した休憩室など 15ヶ所を点検した。休憩室 6ヶ所に閉鎖・移動が、休憩室 9ヶ所には冷暖房施設・適正な温・湿度維持・面積拡大などを勧告した。ソウル大学校は「直ちに改善事項の実行に着手する」と明らかにした。

#### 料金所の解雇労働者、各地労委に不当解雇救済申請

\*大法院の「使用者は道路公社」という判決を受けて、解雇された料金所の料金収納労働者が全国各地労委に不当解雇救済申請を提起した。未支給賃金の請求と勤労者地位保全仮処分も準備している。

#### キム・ヨンギョン対策委「政府は危険の外注化中断の勧告を履行せよ」

#### 地下鉄線路で・・・また、外注労働者が死亡

\*地下鉄の線路で労働者が死んでいる。2017年にソウル地下鉄1号線の線路で作業していた労働者が2人続いて死亡したのに続き、2日にも労働者が列車に轢かれて亡くなった。2017年の事故以後、国土交通部は線路作業を電車が運行しない時間だけに承認することを原則としたが、守られなかった。

#### 鉄道公社『生命・安全業務は直接雇用』いつ履行するのか

\*鉄道労組・公社子会社支部は「生命・安全業務の直接雇用転換と処遇改善を勝ち取るために、子会社の労働者が一緒になって闘う」と宣言した。

#### ソウル行法「時間制ケアワーカーに勤続手当・福祉費の未支給は差別」

\*時間制ケアワーカーにも全日制ケアワーカーに与えられる手当てを支給せよという判決が出た。ソウル市教育庁が勤労時間だけを基準として、一部労働者には手当てを支給していないことが差別にあたるとした。

#### 委託宅配労働者「郵政局が処理物量を武器にして労組脱退を慫慂している」

\*宅配連帯労組が不当労働行為の疑惑で麻浦郵便局・郵便局物流支援団をソウル地方雇用労働庁に告訴した。

#### ゲーム業界労働者「開発すれば職員・・・中止されれば弊履」

\*絶え間ない雇用不安に、ゲーム業界で最初に労組を結成したネクソンの労働者が、初めての集会を開催した。労組を結成から丁度1年目。

#### 4日 民主労総、2020年最低賃金告示の取り消し訴訟を提起

\*民主労総は「労働部が最低賃金委で最低賃金決定基準を考慮せず、討論や質問もなく決めた最低賃金を告示した」として、最低賃金法4条1項違反と主張した。

#### 「私たちが勝った」、ソウル大病院非正規職・・・涙の籠城場解団式

\*「差別のない正規職転換！私たちが勝った！」ソウル大病院労使は、ソウル大病院とボラメ病院の派遣・委託職労働者 800 人全員を直接雇用することで合意して調印式を

行った。公共輸送労組医療連帯本部は直接雇用正規職転換を要求して5月に設置したテント籠城場を撤去する『ソウル支部正規職転換闘争勝利、テント籠城場解団式』を開催した。

現代車労使、8年振りにストなしで賃金団体協議を妥結

\*『2019年賃金団体協議暫定合意案』は組合員の過半数の賛成で可決された。支部長は「交渉中に発生した日本との貿易戦争が無言の圧力として作用したのも事実」と話した。

法院「ソウル市交響楽団団員の個人練習時間も勤務時間」

秋夕の休日も差別・・・非正規職は一日休みが少ない

\*韓国労総が秋夕名節連休実態調査結果を発表した。正規職は平均3.5日休むが、非正規職は2.4日だった。12日から15日まで4日を休むという応答が44.7%で最も多く、続いて年次休暇を使って5日休むだった。

5日 政府は不法派遣企業に労働者直接雇用の是正命令を出せ

\*法院が最近2週間に「不法派遣で使っている」という判決を連続して出した。132の市民・社会団体は「法院が事業場の不法派遣を認めたのに、使用者が直接雇用の判決を履行していない」。「この時間にも労働者は断食籠城と高空籠城を続けている」と批判した。

公共部門労働者2万7千人「必須維持業務制度を改善せよ」

\*公共部門労働者がILO基本協約批准のために進めている労組法の改正案に、争議権を侵害し、労組を無力化する必須維持業務制度の改善案を含ませるように要求した。

ソウル大病院の合意の影響、保健医療労組も駆け足

\*保健医療労組は「労組傘下の国立大病院の派遣・委託職の直接雇用の議論を秋夕前に完了することを目標にしている」。「遅くとも今月末までに合意して10月一ヶ月の準備を経て、11月には転換するのが労組の基調」とした。

『13億ウォンかけて労組潰し』柳成企業会長、再び監獄へ

\*法院が労組潰しを目的に、労務法人に会社の金13億ウォンを支払ったとして起訴された柳時英会長に懲役刑を宣告した。

過労死・過労自殺遺族「故人の名誉回復、あまりにも荷が重い」

\*過労死OUT共同対策委員会と韓国過労死・過労自殺者遺族会の主催で、過労死・過労自殺問題対応の経験と課題ワークショップが行われ、遺族が自らの経験を発表した。

「物量爆弾が降り注ぐ」秋夕を前に地獄の門が開かれた宅配労働者

\*宅配・配達労働者を代表する労働組合が劣悪な労働環境改善のために一つの席に集まって『宅配労働者の長時間労働実態暴露と改善要求記者会見』を行った。

6日 経使労委・委員長「柔軟勤労制拡大の議論は難しい」

\*ムン・ソンヒョン委員長が、財界が要求する柔軟勤労時間制拡大に関して、議論するのは難しいという立場を明らかにした。2期経使労委が構築されれば、企業のリストラ対策や共生型地域雇用の問題を集中的に議論する計画だとした。

フランチャイズ店加盟本部の『契約解約の甲質』を防止する

\*政府と与党が『公正経済成果早期創出方案』を作って、中小・零細商人を保護するために、店主との契約を直ちに解約できるとしているフランチャイズ加盟本部の権限を

縮小する。賃金格差の緩和を誘導するために企業の賃金分布現況を毎年公表するとした。

「力の均衡をとる」として、労働者の手足を縛ろうとする財界

\* 政府は7月にILO基本協約批准のための労働関係法改正案を立法予告している。全経連傘下の韓国経済研究院が「力の均衡を合わせるべき」として、失業者・解雇者の労組加入を禁止し、争議行為の時に代替労働を許容する改正を、政府に要求した。

青年労働者、職場内いじめで泣きっ面

\* 青年ユニオンが『新入社員職場内いじめとセクハラ実態調査結果報告』を出した。職場で、年齢が低くて地位が低いほど、職場内いじめとセクハラに遭う危険が高く、新入社員がこれに当たるとして、政策的な努力が必要だと主張した。

ソ・ジユン看護師、真相調査委「職場内いじめのせい」

\* 1月に「病院職員の弔問も受けるな」という遺書を残して亡くなったソ・ジユン看護師の死は、いわゆる『焼き入れ』が原因だと『ソウル医療院看護師死亡事件真相対策委員会』が確認し、改善を勧告した。

清掃労働者が労組を結成すると直ぐに委託業者を小分けした入札を公告

\* ビッグ5病院・ソウル牙山病院が、非正規職労組が結成されると、1社に委託していた清掃業務を3つに分けて違う業者に委託すると広告した。10年以上病院清掃業務を行ってきた労働者は「労組を弾圧する意図」と反撥した。

金融労組、日本軍性的奴隷制の問題解決への連帯活動を強化

\* 金融労組が日本軍性的奴隷制問題を広く知らせ、被害者を慰労する社会連帯活動を強化する。労組女性委員長は募金運動を始めると話した。来年は韓国挺身隊問題対策協議会の創立から30年。正義記憶連帯はこれを記念して、ウガンダに金福童センターを建てる。ウガンダは戦時性暴力の被害女性が多い国。

宅配・配達労働者、「処遇改善・休息権保障」に共同行動

\* 公共輸送労組とライダーユニオンが宅配・配達労働者の賃金・処遇改善と休息権保障方案を作るための宅配・配達労働者キャンペーン事業団、『希望を加える』を結成した。

不法設置物扱いされた釜山少女像・労働者像、合法化の道開かれる

\* 釜山市議会は道路占用許可関連条例の改正案を全員一致で通過させた。道路占用許可を歴史的記念造形物に拡張する。

8日 「断食42日・・・返事のない政府」非正規職100人が連帯断食

\* 非正規職労働者約100人が8日に一日断食した。判決通りに政府が不法派遣の是正措置を執ることを要求して、断食42日目を迎える起亜自動車非正規職労組のキム・スオク支会長を激励する同調断食。

9日 『労働尊重社会』で労組するのがなぜこんなに大変ですか

\* 『労働尊重社会』を標ぼうした現政権の出帆以後、労働組合加入者が増加しているが、一部の現場では依然として労組嫌悪による弾圧がなお続いている。労組を作ったという理由で不当な配転や懲戒措置をし、労組員を相手に民・刑事上の訴訟を行うことも相変わらず続いている。

金融圏『非正規職と社内勤労福祉基金の分かち合い』本格化

\*莫大な収益を上げる金融機関が稼いだ金を、派遣・委託労働者の福祉向上に使う準備をしている。社内勤労福祉基金を同じ事業場で働く非正規職にも使う。関連法の改正に続いて労使が合意し、期待感が高まる。

同じ訴訟をした1200人の雇用は除外、料金所労働者が反撥

\*大法院で不法派遣の確定判決を受けた296人だけを直接雇用するという会社側の発表に、韓国道路公社の料金所料金収納員のうち民主労総所属組合員が、労組に「もっと闘え」という指針だとして、反撥した。

料金所労働者200人が正義党に集団入党

「奪った最低賃金を返せ」現代グリーンフード食堂の労働者、百貨店内をデモ  
大法院『秘書を業務上威力で性暴行』、前・忠南道知事に懲役3年6月確定

10日 料金収納員に清掃業務をさせたり、子会社転換の意志を再確認する公社

警察投入に正規職の『人間の壁』まで・・・料金所収納員の道路公社占拠2日目

『賃金未払いすれば劇場上映を禁止』映画産業で実験

\*毎年、秋夕になると登場する常連のニュースが賃金不払いだ。映画産業の労使は2013年と2014年にかけて「賃金未払いなどで紛争中の製作会社と関連者に対する投資と配給・上映(共同製作含む)を禁止する」という『韓国映画産業労使政履行協約』を締結した。結果2014年14億2千万ウォンだった未払いが、昨年は4億ウォンに急減した。  
配達員は職員ではないと言いながら食事時間まで指定した『ヨギョ』

\*ライダーユニオンが、配達注文アプリ『ヨギョ』が、配達員を指揮・監督しているという状況などの証拠を公開した。

半導体パッケージ工程の労働者の肺癌、産災認定

\*これまで半導体製造工程で発生した肺癌のケースでは2件が産業災害を承認された。  
パッケージ(組み立て)工程で発生した肺癌は今回が初めて。

コレイル、外部業者の労働者には『列車接近警報端末』を与えなかった

\*監査院が鉄道安全管理実態監査報告書を発表した。韓国鉄道公社が事故を防ぐための列車接近警報モバイル端末を公社職員にだけ支給して、外部業者職員には支給しなかったという事実が確認された。

11日 2017年以後組合員22万人増加、非正規職・青年・女性の比率高く

\*民主労総の組合員が2年間で22万人増えて、100万人を越えた。新規組合員の4割は公共部門の所属で、正規職・青年・女性の比重が高いと確認された。民主労総は「現場を変えようとする熱望が労組の組織化として現れた」とした。公共輸送労組は2年間で5万404人増え、組合員が22万626人と最大組織だ。文在寅政府が推進した公共部門非正規職の正規職化政策による反射利益と分析される。

下請けの調査で元請けに違法行為の疑いがあれば元請けも勤労監督

\*労働部が『勤労監督行政総合改善方案』を発表した。事業場を勤労監督する時、請負・派遣契約を結んだ元・下請けの違法行為が疑われれば、勤労監督の範囲を拡大する。公正な勤労監督を妨害する上級者の指示を、監督官が拒否できる規定も作った。同時に勤労監督官200人を年末までに追加採用して、1961人にする。

サムソン解雇労働者・キム・ヨンヒさんの高空籠城は93日目に

故郷にも帰れず・・・籠城中の労働者『道路の上で迎える秋夕』

故郷に帰る道の上に残った人たち・・・料金所労働者74日目の座り込み

\*本格的な帰省ラッシュが始まった。料金所料金収納員の労働者は家へ帰れないまま74日目座り込みを続けている。

警察、道路公社を占拠した料金収納員の強制鎮圧を保留

12日 強制鎮圧の緊張感が晴れ、笑いの花が咲いた料金収納員籠城場・・・家族と電話も

13日 断食47日目・・・病院に護送されるキム・スオク支会長

\*現代起重車の社内下請け労働者の正規職直接雇用を要求して47日間断食座り込みを続けてきた起重車非正規職支会長が、深刻な呼吸困難で病院に運ばれた。

『道路公社で籠城』料金収納労働者たち、秋夕の合同法要を実施

15日 法施行2ヶ月・・・『職場内いじめ』の告発を放置したり不利益扱い

\*市民団体『職場の甲質119』には、法施行以前(一日平均65件)より1.6倍多く一日平均102件の情報提供がある。「企業が就業規則を改正し、役職員を対象に予防教育をするなどの変化が起き、我慢していた社員が勇気を出し始めた」「しかし、依然として過去の慣習に捕らわれた会社と上司が、申告を放置したり無視し、組織内に『甲質癌細胞』を弘めている」とした。